

○ ソウジュツ（蒼朮）



語源

ホソバオケラの種小名の *lancea* は、ラテン語の *lancea* ランケア「軽い槍、やす」に由来しているが、このラテン語から、英語の *lancer* ランサー「槍兵」や、*lancet* 「ランセット(採血用の穿刺針)」などが派生した。
シナオケラの種小名 *chinensis* は、「中国の、中国産の」の意。

基原

Atractylodes lancea De Candolle ホソバオケラ
Atractylodes chinensis Koidzumi シナオケラ
又はそれらの種間雑種
キク科 多年草

薬用部分

根茎

産地

Atractylodes lancea De Candolle ホソバオケラ
中国(湖北、江西、江蘇など)
Atractylodes chinensis Koidzumi シナオケラ
中国(河北、河南など)

中国北部より産する蒼朮は主としてシナオケラを基原とし、天津に多く集荷されることから「津蒼朮」の名でも呼ばれる。

主な成分

アトラクトロジン、ヒネソール、 β -オイデスマールなどを含む。切断したソウジュツは、半密閉状態で長期保存すればオイデスマールとヒネソールの混晶が生薬の表面にカビのように析出する。



主な薬効

健胃、整腸、利尿

代表的処方

主として漢方処方用薬である。健胃消化薬、止瀉整腸薬、利尿薬、鎮暈薬、保健強壮薬、鎮痛薬とみなされる処方及びその他の処方に比較的高頻度で配合されている。

【平胃散】

ヘイイサン

食欲不振、胃部痞硬(胃部に触れると硬いこと)、腹鳴、下痢、急・慢性胃カタル、胃拡張症、胃アトニー、消化不良、食欲不振に用いる。

(処方内容) 朮/大棗/厚朴/甘草/陳皮/乾生姜

【桂枝加朮附湯】

ケイシカジュツプトウ

関節痛、神経痛に用いる。

(処方内容) 桂枝/甘草/芍薬/朮/大棗/附子/生姜

【二朮湯】

ニジュツトウ

五十肩、神経痛に用いる。

(処方内容) 白朮/茯苓/陳皮/天南星/香附子/黄芩/威靈仙/羌活/半夏/蒼朮/乾生姜/甘草

【分消湯】

ブンショウトウ

痔出血に用いる。

(処方内容) 朮/枳実/茯苓/陳皮/大腹皮/厚朴/縮砂/香附子/木香/猪苓/生姜/沢瀉/灯心草

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「日本薬草全書」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp